

平成30年度 第2回  
北見市中小企業振興審議会

議事録要旨

開催日時：平成30年10月30日（火）10時～11時30分

開催場所：北見市工業技術センター 第3研修室

出席者：小原会長、有田副会長、小田委員、片山委員、坂口委員、佐々木委員、清野委員、森本委員  
（事務局） 山田商工観光部長、清水商工観光部次長、帰山商業労政課長、  
境中小企業係長、柴谷中小企業係員  
（傍聴者） 3人

議題：（1）北見市中小企業振興プランについて  
（2）その他

### 【1. 開会】

（山田商工観光部長） ・開会挨拶

### 【2. 会長挨拶】

（小原会長） ・本日の議事は、今年度中の策定を目指す中小企業振興プランに関わる内容となっている。  
・今後の中小企業振興施策の肝となる重要なプランなので、委員の皆さんの活発な議論、意見をお願いしたいと考える。

### 【3. 議事】

（小原会長） ・議事の（1）北見市中小企業振興プランについて、事務局の説明を求める。

（帰山商業労政課長） ＊主な説明内容

- ・現段階の北見市中小企業振興プランの全体構成について、「第Ⅰ章 プランの概要」では、プラン策定の目的や位置付け、策定の前提条件となる今後の社会潮流や人口動向を記載している。
- ・「第Ⅱ章 統計データに見る市内中小企業の現状」では、経済センサス調査や工業統計調査などの統計結果から、事業所数や従業者数の状況、市内の経済構造、企業経営の現状を明らかにしている。
- ・「第Ⅲ章 企業アンケート調査」では、本年実施した市内中小企業者の実態アンケート結果を掲載している。
- ・「第Ⅳ章 中小企業関連施策の実施状況」では、これまで市が実施してきた中小企業関連施策の実施状況などを記載している。
- ・「第Ⅴ章 北見市の中小企業が抱える課題」では、第Ⅱ章の統計データと第Ⅲ章の企業アンケート調査結果を基に、市内の中小企業が抱える課題の抽出を行っている。
- ・「第Ⅵ章 中小企業振興に向けた展開方針」と「第Ⅶ章 プランの進捗管理指標」では、第Ⅴ章で抽出した課題の解決に向けた施策の展開方針と、その進捗管理を行うための目標値を定める予定。第Ⅵ章以降については、本日の

審議会議論を踏まえて、今後作業を進めていく予定である。

- ・現段階における素案の内容について、第Ⅰ章では、プラン策定の目的を、市内中小企業の現状と課題を明らかにした上で、北見市中小企業振興基本条例を具体化する施策を定めることにあり、その位置付けは、現在策定中の北見市総合計画のうち、中小企業振興に特化した個別計画としての性格を有するものであるとしている。本プランを策定する上での基本的な前提条件は、中小企業が本市産業の中心的な担い手であるということ、また本プランは、中小企業・市民・行政がそれぞれの役割を認識した上で共有し、互いに連携・協力して推進していくものであること、さらには、人口減少・少子高齢化の進行や技術革新の進展など、中小企業の事業活動に影響を与える社会潮流や今後の人口動態を踏まえたものであること、これらを踏まえて、本プランを策定する必要があると考えている。
- ・第Ⅱ章では、各種統計データから、本市における産業構造と特性、企業経営の現状を明らかにしている。
- ・第Ⅲ章では、市が今年実施した市内中小企業者の実態アンケート結果を記載している。本アンケートは、平成23年度と平成27年度にも実施しており、各調査項目における回答の推移を確認できるよう各年度の調査結果を並べて記載している。今回のアンケート結果のまとめとしては、①経営状況は好転傾向にある、②設備投資意欲が高まっている、③企業・商品の評価と差別化が競争力の源泉になっている、④人材不足が深刻な状況にある、⑤事業承継が経営上の重要課題である、⑥新たな顧客や市場開拓が必要である、⑦行政に対する意見・要望が多様化している、という7点を挙げている。
- ・第Ⅳ章では、中小企業関連施策の実施状況として、第2次産業振興ビジョンに基づいてこれまで行ってきた振興施策をまとめたほか、昨年7月に施行された「地域未来投資促進法」に基づく取組状況を記載している。
- ・第Ⅴ章では、第Ⅱ章における統計データと第Ⅲ章における企業アンケート調査の結果を基に市内の中小企業が抱える課題の整理を行っており、課題としては、①人材不足の解消、②収益力の向上、③魅力的な商品・サービスの開発、④市場開拓、営業力の強化、⑤市内産業の自力の向上、⑥円滑な事業承継の6点を挙げている。
- ・今後のプラン策定スケジュールについては、本日の審議会結果を踏まえた上で、プラン全体の素案を作成し、11月に各委員に送付させていただき、意見を頂戴したいと考えている。同時に商工会議所や商工会、同友会オホーツク支部といった市内経済関係団体にも素案を送付し、同様に意見を頂戴する。書面開催を経て、12月の審議会ではプラン素案の最終版を示す予定である。

(小原会長)

- ・事務局説明に対し、章ごとに意見をいただきたい。第Ⅰ章について、意見や

質問はあるか。

- (森本委員) ・中小企業振興の方向性を具体化したものが11月に示されるのか。その中には予算や新規施策も盛り込まれるのか。
- (帰山商業労政課長) ・皆さんから意見をいただいた上で、具体的な施策などを11月に示す。
- (山田商工観光部長) ・事業ごとの個別予算は示さず、中小企業振興を進めるための具体的な施策の方向性を、新規施策を含めて盛り込んでいく。
- (小原会長) ・第Ⅱ章について、意見や質問はあるか。
- (森本委員) ・資料1の15ページの従業者数の産業別内訳の表において、業種全体ではなく中小企業の数値を記載すべき。
- (境中小企業係長) ・業種ごとの中小企業数を抜き出すことが可能であれば記載する。
- (小田委員) ・データが北見全体の数値になっているが、各自治区の状況は大きく異なるので、ここで設定される目標なども意味を成さないのではないか。
- (山田商工観光部長) ・中小企業振興という意味では、市全体として現状をとらえて方向性を出していくということが求められている。今後11月の素案送付の段階で、各自治区の現状に合っているのかも含めて意見をいただきたい。
- (小原会長) ・資料1の29ページの創業比率のデータは、2014年が最終だが、これより新しいデータはないのか。
- (境中小企業係長) ・RESASのデータであるが、2014年が最新である。
- (小原会長) ・第Ⅲ章について、意見や質問はあるか。
- (佐々木委員) ・平成30年度のアンケートのサンプル数が低下した要因は何か。
- (境中小企業係長) ・平成23年度と平成27年度については、調査票を郵送し、回答を返送してもらった形であったが、今年度については、初の試みとして基本的にWEBでアンケートを実施した。インターネット上ではやりにくいといった意見をいただき、今回の課題を踏まえ次回に向けて実施方法を精査して参りたい。
- (山田商工観光部長) ・回収率は1割弱にとどまったが、基本的なサンプル数としては一定程度取れていると考える。

- (坂口委員) ・実態よりもアンケート結果が良く思えるが、災害対策や大型施設建設などの特殊要因があった旨、付記すべき。また、経営課題の中で直近10年、15年の人口分布、マーケット分布、人口減少や高齢化の状況に触れるべき。
- (山田商工観光部長) ・特殊要因が影響していることを客観的に証明できるものがない。
- (清水商工観光部次長) ・人口分布等については、第I章で示しているが、これらの情報が分かりやすく伝わるよう内部で検討する。
- (森本委員) ・アンケート項目に業歴、社歴を追加しクロス分析をしてはどうか。
- (小原会長) ・次回以降、検討していただければと思う。
- (小原会長) ・第IV章について、意見や質問はあるか。
- (佐々木委員) ・ビジョンの基本的施策に関係する業種がどの程度かという観点でみると、対象業種の数に限られる。中小企業振興プランでは、こうした対象外業種をカバーする施策をしっかりと実施していくものにしてほしい。
- (小原会長) ・第V章について、1人ずつ意見を伺いたい。
- (有田副会長) ・市内学生にオホーツク圏の魅力を知ってもらうためには、地域の施設見学や職場体験などの取組が必要。  
・市外進出も大切だが、市内限定販売で利益を上げる事例もある。市場開拓も必要だが、リスクを伴うこととの兼ね合いも考えていかなければならない。
- (森本委員) ・高校生を対象とした起業教育は、地域に関心を向けさせるきっかけとなる大切な取組。地域に残り、自らが地域で何かを起こしたいと思う学生が増えれば、北見で伸びていく会社が増える。地元企業を知ってもらう機会を作ることが重要。  
・北見には創業に興味のある若い女性が多くいると感じているので、幅広く支援していくことが大切。
- (清野委員) ・課題についてはアンケート調査の結果がある程度反映されている。  
・人手不足が要因で木材価格がかなり高騰しており、伐採して植林するという循環もうまくできない懸念があるため、新卒者の確保や地域への定着が望まれる。
- (佐々木委員) ・課題は網羅されている。

- ・人材は全体のパイが決まっており、確保が難しいため、ICTの活用は有効だと思うが、ICT活用以外の方策も盛り込んでもらいたい。
- ・今すぐではなくとも、富士市のF-Bizのような支援機関を整備することも、収益の向上や営業力の強化を図るための一つの手段として有効なのではないか。

(坂口委員)

- ・高齢化の現状を踏まえ、高齢者雇用を進めることが必要。
- ・事業承継問題の解決策として、事業承継バンクや事業承継アドバイザーの活用は有効な手段だと思う。また、空き店舗や土地など、今あるものを生かす政策を実施していくことが必要。

(片山委員)

- ・課題の抽出はよくされており、よく現状分析されている。
- ・北見市が将来にわたり間違いなく人口が減っていく中、いかに活力あるまちづくりをしていくかを考える必要がある。総花的な内容にならず、ある程度のプライオリティをつけた政策の展開にあたっていただきたい。

(小田委員)

- ・大人が楽しんでいる姿を子ども達にみせて、良いまちだと伝えていくことが地域の魅力づくりにつながる。魅力ある大人がいないと、若い世代が地元に残らない。各機関が連携をとりながら、問題解決に取り組むことが大切。

(小原会長)

- ・人材不足は非常に大きな問題だと捉えている。中学、高校時代から地元どんな企業があるのかを教育していくことは大事なこと。また、学生の親に対しても、地元企業に目を向けてもらえるようアピールしていくことが必要。人材不足解消に向けて市一体となって取り組んでいきたい。

(小原会長)

- ・議事の(2)その他として、委員から何かあるか。

(委員からの意見はなし。)

#### 【4. 閉会】

(小原会長)

- ・以上で本日の審議会を終了する。